

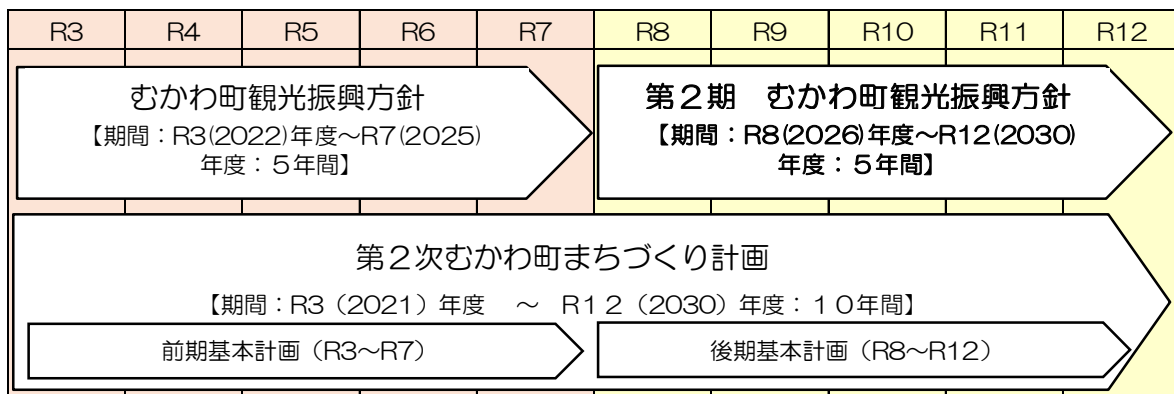
第2期むかわ町観光振興方針 (概要版) 1 / 2

基本理念

地域課題の解決に観光が貢献し、まちづくりが進展することを目指して、本方針は最上位計画である「第2次むかわ町まちづくり計画」に基づき、単なる観光振興にとどまらず、人口減少などの地域課題解決や、町民の「シビックプライド（誇り）」醸成に寄与することを目指します。

方針の期間

本方針の期間を令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの5か年とし、最上位計画である「第2次むかわ町まちづくり計画」と調和を図りながら、継続的に点検・評価・見直しを行っていくこととします。



現状と課題

- 「通過型」からの脱却と経済循環
年間約18万人の入込があるものの、施設単体の利用が多く、町内周遊や飲食・物販への経済波及が限定的です。
- 「素材」から「商品」への転換
ししゃもや恐竜などの優れた資源（素材）を、観光客が満足できる「体験」や「商品」へと十分に昇華できていません。
- 「行政主導」から「官民協働」へ
イベント等の運営が行政予算やマンパワーに依存しており、民間主導による「地域経済を動かす観光」へのシフトと持続可能性の確保が急務です。
- マンパワーと財源の集中
観光に関わる各団体等の連携は途上でありリソースが分散されていることから、一体感ある推進力の構築が必要です。
- 地域への「誇り」の再醸成
町民自身が町の価値を認識し、自信を持って推奨できる「シビックプライド（地域への誇り）」を育む必要があります。



第2期むかわ町観光振興方針 (概要版) 2 / 2

5つの基本方針と主な取り組み

1 地域資源を活用したまちづくりの推進

- **観光振興推進体制の充実とおもてなしの環境整備**
観光協会の運営を支援するとともに「むかわ町観光連絡会議」を通じ、町・事業者・団体がフラットに対話できる場をつくります。
- **地域資源を活用した観光推進**
恐竜化石や農産物、海産物などの地域資源を見つめ直し、観光資源として磨き上げる取組を推進します。
- **交流拠点となる施設の活性化**
「四季の館」「穂別恐竜博物館」などの既存施設や遊休資産の活用・魅力の磨き上げを通して町内の周遊性を高める取組を推進します。

2 関係人口・交流人口の創出・拡大

- **関係人口・交流人口の創出・拡大によるむかわファンづくり**
魅力ある特産品の情報を積極的に発信し、出身者やふるさと納税寄附者との繋がりを深め、継続的な関係を築きます。
- **姉妹都市などとの交流推進**
姉妹都市（砺波市）や恐竜関係自治体との交流を通じて、相互理解を深め経済的な結びつきを強化します。
- **広域観光の推進**
近隣地域と連携し、広域観光ルートを形成します。

3 地域ブランド力の強化

- **恐竜のブランド化の推進**
恐竜を核としたツアー造成や商品開発、マーケティングを強化します。
- **むかわブランド育成**
豊かな自然や歴史資源を含めた、まち全体のブランド価値向上を図ります。

4 「地域経済を動かす観光」への継続的な連携とトライアル

- **民間主導の持続的な連携とトライアル**
民間主導の新たなイベントや事業の試行（トライアル）を行政が支援する環境を整えます。
- **イベントの抜本的見直し**
既存イベントを棚卸しし、収益性と持続可能性のある形へ集約・再編を進めます。

5 魅力の発信とシビックプライドの醸成

- **戦略的な情報発信（アウターブランディング）**
「誰に何を届けるか」を明確にし、ターゲットに響くプロモーションを行います。
- **シビックプライドの醸成（インナーブランディング）**
町民が地域の歴史や価値を再認識し、自信を持って語れる機運を醸成します。

